

ゆうかり

SINCE 1957

Vol.
65

令和3年
6月1日

編集・発行責任者
日野 博愛



支援棟でお弁当を食べたよ!!
味は最高!!!

日帰り旅行は残念ながら中止のため、代わりに
地域支援棟でお楽しみ会を催しました。

社会福祉法人 ゆうかり学園

法人所在地

〒839-1216

福岡県久留米市田主丸町中尾1274-1

TEL(0943)73-0152 FAX(0943)73-0524

<http://www.yuukari.or.jp>

- ・医療型障害児入所施設・療養介護事業所
ゆうかり医療療育センター
- ・児童発達支援センター コアラ園
- ・障害者支援施設(就労継続支援B) 耳納学園
- ・障害者支援施設(生活介護) 千歳療護園
- ・障害者支援施設(生活介護) 第二千歳療護園
- ・相談支援事業所 夢の紀

「あそびを通して子ども達の

成長と発達をサポート」

児童発達支援センター コアラ園

所長 久恒 章

社会福祉法人ゆうかり学園が設置経営する施設に就学前の児童が通園する児童発達支援センターコアラ園があります。ゆうかり学園の広い敷地内の東側にある3階建て地域支援棟の1階に施設スペースがあり、南側の門より入り、直ぐ右手に玄関がありますので、ゆうかり医療療育センターの玄関と間違えて来園される方がよく居られます。コアラ園の歴史としては、昭和60年4月に肢体不自由児施設ゆうかり学園の通園療育部門として定員40名で開設されました。当時は、肢体不自由児に対しての療育を主に行っていました。その後、平成24年4月に福祉型児童発達支援センターコアラ園として事業を開始しました。

コアラ園では三つの事業を行っています。児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援事業です。児童発達支援は1日の定員が20名で、開所時間が9時から15時の時間帯です。放課後等デイサービスは、1日の定員が10名で、開所時間が15時から18時の時間帯です。保育所等訪問事業は、2週間に1回のペースで訪問し、約3ヶ月間実施します。3ヶ月後の状況をみて再度訪問が必要な場合は、第2クールを計画し訪問活動を行っています。

中でも児童発達支援は利用ニーズが高い事業です。平成30年度は、年間で103名の契約児を受け入れた状況がありました。今年度も年長児が32名卒業し、52名の契約児よりのスタートです。すでに14名の利用希望児があります。利用されている児童は、各市町村の1歳半健診や3歳児健診で、言葉が遅い、動作がぎこちない、行動が気になるなどの成長、発達が気になるお子さんです。ゆうかり医療療育センターで診察を

受けて、医師よりコアラ園での療育を必要とされた方が、お住いの市町村窓口で手続きをしていただき、利用開始となります。ほとんどの対象児童が地域の保育園、幼稚園を利用しながら、週1回コアラ園へ通園しています。また、就学前までにしっかりとした母子関係を築いていただく為に、母子通園を基本としています。コアラ園大好き、コアラ園の先生も大好きになっても

「面白いな」、「もつとやりたいな」の意欲を育み、そこから発達全体を促進し、大好きな自分づくりを応援したいと考えています。コアラ園の療育プランは、「皆の中で認められる・ほめられる」、「小さなステップを積み重ね、達成感を感じる」という体験を大切にしています。少人数ですが、お友だちとの活動で「楽しい」、「嬉しい」という気持ちを共有し、コミュニケーションの向上を図っています。またお母さんの子育ての不安や悩みの相談もお答えして、お母さんへの安心もサポートします。お子さんの笑顔はお母さんの笑顔からです。また、就学を迎える年長児の保護者に対して、学校見学等の案内を行い、進路の判断材料として情報提供を行っています。就学時に、コアラ園は卒園となりますが、ゆうかり医療療育センターの訓練課にて継続しての療育フォローを行う様にしています。学習面でご心配な方には、心理関係スタッフや各種検査等を通じて支援しています。

就学後の学童保育に馴染めない子供さんには、放課後等デイサービスの利用を案内しています。また保育園、幼稚園、小学校等にて気になる行動があるお子さんへは、コアラ園スタッフ

が、それぞれの担当のスタッフへ、接し方や、環境面へのアドバイスを行う保育所等訪問支援も行っています。久留米市、うきは市、朝倉市の要請による地域療育支援活動にもコアラ園スタッフ2名を派遣し、それ

その地域の療育活動を支援しています。このように地域において、療育が必要な子ども達に対して、日常生活動作や集団での行動獲得を目指し日々努力を重ねています。

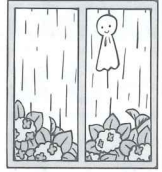
幼児期に適切な療育を行う事は、植物に例えようと根っこの部分の成長を促していると思います。目には見えない状態ですが、将来しっかりとした芽や葉や花を咲かせる為の準備をしている段階をコアラ園で支援させていただいています。

週1回の登園ではありますが、登園するたびに成長が見受けられるようになり、その成長をお母さまが実感すること、お子様への接し方の変化が見られ、お互いが成長するという相乗効果が表れてきます。またそれは、スタッフのモチベーションにもつながっています。

今後も「ひとりひとりの笑顔を大切に、ふれあい、育み合い、心に寄り添う」をスタッフ一同、常に心に留めて療育活動を通じてお子様の成長・発達を支援して参ります。



施設だより



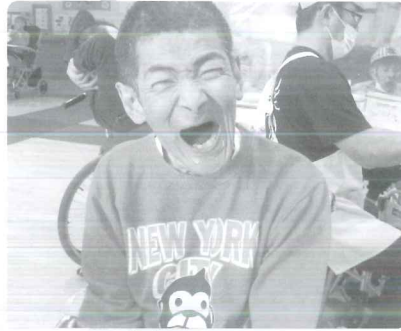
— こんな楽しいことがありました —

千歳療護園・第二千歳療護園

～お楽しみ会～



パンケーキを味わって
食べました。



△ 楽しく過ごしました。



△ 殿様に来ていただきました。



じゃんけん大会。
負けません!



パンケーキ美味しいです!

△ 美味しくいただきました。

～春の散歩～



△ 天気が良くて気持ちいいです!

障害者支援センターちとせ

～春の散歩～



△ 今年も

▽ 綺麗です。

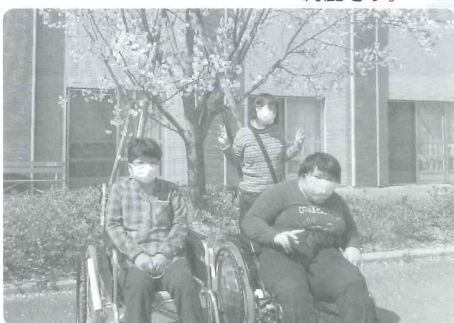


△ 桜が



△ 天気がよかったので愛犬と

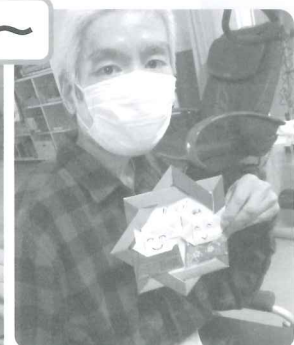
～ひな祭り～



△ お雛様



△ 上手に



△ 出来てますか?

おひさま寮

～ひな祭り～



お雛様と一緒に♡



▷ お内裏様になりました(^^)♪

～節分行事～



鬼さん怖いよ～((+_+))



◁ 花祭り楽しい～(^^)☆



雪が降って嬉しいな～(^O^)/☆三

～お誕生会～



誕生日会でお祝いしてもらいました♡

ながよし寮

～節分行事～

▷ 豆まき行事で最後は仲良く鬼と記念撮影



～祝成人～



祝!成人!二十歳おめでとうございます!

～卒業～



△みんな揃って無事に卒業しました!

～ひな祭り～



～お楽しみ会～



午前中はドライブに行き昼食を支援棟で食べました

生花教室 ▷ 頑張りました

～生花教室～



ともだち寮

～ひな祭り～



△輝く笑顔

▷ 御内裏様とツーショット

～野球観戦～



プロ野球、開幕!! やったー!

～春の散歩～



△暖かい木の下で集まりました

桜満開!!きれいだなあ。



久しぶりのドライブ、楽しみ

～ドライブ外出～



セルフ耳納学園

～喫茶店～



おいしかったよ(o^ー^o)

～夕食会～

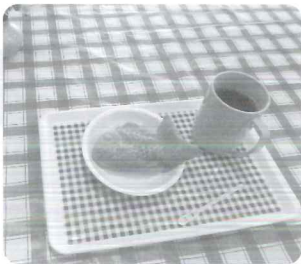


△ メインは、しゃぶしゃぶ♪

長い間、お世話になりました



△ また遊びにきてください♪ 待ってまあーす☆



△ カリカリもちもちのたいやきでした。



△ 梅ヶ枝餅を手作りしました



松熊さん、ありがとうございました(^O^)

△ 財部さん、お世話になりました(^^^^)

コアラ園

～ドライブ～



△ 芝桜見たよ

～運動遊び～



△ もっと揺らして

～園庭遊び～



△ シャボン玉楽しいね



△ 電車も見れたね



△ 風船ポンッ!!



△ 風が気持ちいいね



②先生たちと中学部の勉強や製作などを頑張りたいです!!



①中学部に入学しました、白石祥太です。

おひさま寮

白石 祥太さま(12才)

質問
①自己紹介をお願いします。
②学校生活での夢や、挑戦したいことを聞かせてください。

新しい学校生活がスタートし、夢一杯のことと思います。ご入学、おめでとうございます。

カーブスフード ドライブ様より寄贈

2月26日に健康体操教室「カーブス」様が実施されている「フードドライブ」より、食料品の寄贈をいただきました。「フードドライブ」とは家庭にある長期保存可能な食料品を集め、地域の社会福祉施設へ寄付をする活動のことです。今回多くの支援をいただき、ありがとうございます。大切に使用させていただきます。



いくつもの段ボールで届けていただきました。有難く使わせていただきます。

辞令交付式

今年も4月1日に辞令交付式と新任職員研修があり、新たに8名の方が仲間として加わりました。新任職員研修では、理事長による講義、車椅子や摂食の実技、施設見学が行われました。緊張の1日だったと思います。これから新しい仲間としてよろしくお願ひ致します！



言語聴覚士より摂食に関する実技がありました。分からないことは諸先輩方に教えてもらいながら、一緒に頑張っていきたいと思います。

丸紅基金様より



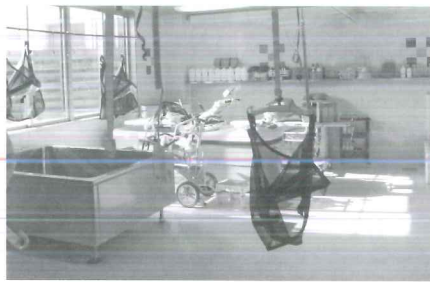
今年1月に丸紅基金様よりいただいた2020年度社会福祉助成金により、3月上旬第二千歳療養園に浴室用天井走行リフトが設置されました。利用者様からの感想は「安心して乗れる」という声や、職員からは「身体の負担が減った」という声が多く聞かれています。入浴は利用者様にとってくつろぎの時間になっているかと思えますが、転倒による怪我等のリスクも考えられ、今回の設置により利用

今年1月に丸紅基金様よりいただいた2020年度社会福祉助成金により、3月上旬第二千歳療養園に浴室用天井走行リフトが設置されました。利用者様からの感想は「安心して乗れる」という声や、職員からは「身体の負担が減った」という声が多く聞かれています。入浴は利用者様にとってくつろぎの時間になっているかと思えますが、転倒による怪我等のリスクも考えられ、今回の設置により利用

者様、職員ともに安心できる入浴につながり、大変有難く感じています。ありがとうございます。



安定した吊具で、利用者の方も安心して乗ることができています。



お風呂場。滑りやすいため、天井走行リフトがあることで、職員側も安心して介助にあたることができます。

お知らせ

盆踊り・花火大会の中止
昨年に引き続きになりますが、今年もコロナウイルスの感染状況を踏まえ、中止致します。

善意のかずかず

いつも心温まるご厚情を賜り誠にありがとうございます。心よりお礼を申し上げます。
(順不同・敬称略)

江良彰(マスク)・大宰府古ル

新人職員紹介

フ倶楽部(寄付金)・牛島美重子(寄付金)
ゆうかり学園の新しい仲間をご紹介します。

- 大山 結子 看護師 生活部
- 耳納 学園 生活部
- 福島 あやの 保育士 育成部保育課第三課
- ゆかり医療療育センター
- 鹿子島 麻衣 介護員 看護部介護第一課
- ゆかり医療療育センター
- 久保山 恵美子 准看護師 看護部看護第三課
- ゆかり医療療育センター
- 手島 英子 看護師 看護部看護第三課
- ゆかり医療療育センター
- 秦 さおり 看護師 看護部看護第二課
- ゆかり医療療育センター
- 八谷 歩美 看護師 看護部看護第二課
- ゆかり医療療育センター
- 古賀 冬子 調理員 給食部給食課
- ゆかり医療療育センター
- 田代 虹希 介護福祉士 看護部介護第二課
- ゆかり医療療育センター
- 大渡 愛斗 介護福祉士 第二千歳療養園 生活部生活支援課

編集後記

新型コロナウイルスが流行し出して、約1年が経ちました。今年の2月と3月に全職員のPCR検査を行なった結果、全職員陰性ということでした。これから先も、利用者様や外来の方が安心して施設を利用できるように、マスクの着用、手洗い、消毒等に取り組みでいきたいと思っております。話は変わり、今年の3月11日で東日本大震災から10年、4月14日で熊本大震災から5年となりますが、未だ大きな地震の速報が流れ、不安を持たれる方もいらっしゃると思えます。でも、今年には明るい話題もあります。今年7月にはオリンピックがあり、無事開催できることを心より祈っております。私たちも、今年のゆうかり学園のテーマ「原点回帰更に勇往邁進」感謝・謙虚・結束に沿って毎日仕事に励んでいきたいと思っております。これからもゆうかり学園をよろしくお願ひ致します。

- 江上 郁弥 訓練支援員 第二千歳療養園 生活部生活訓練課
- 高田 こず恵 看護師 生活部看護課
- 高田 巨教 看護師 生活部看護課
- 千歳療養園 生活部

令和3年度事業計画

1、重点項目

①2021年社会福祉法人ゆうかり学園テーマ

原点復帰そして勇往邁進く感謝・謙虚・結束く

〔原点復帰とは、物事を進めていく途中で迷ったときにおいて、出発点に戻って考え直す又は立ち戻るという意味。勇往邁進とは、どんな困難が待ち受けようとも恐れずひるまず目標に向かってただひたすらに前進するという趣旨。〕

このテーマを念頭に置き、大きく変革していく福祉情勢に立ち向かっていく気概と信念を持ち、利用者様の安全・安心・快適の実現と、生活の質の向上を図ることとする。同時に社会福祉法人に求められるニーズに的確に対応して更なる福祉の向上を図ることとする。

②事業体系の見直し

従来の課題であった耳納学園の経営安定を図るために、事業体系を現在の就労継続支援B型から令和3年度中に生活介護へ移行する。

③利用者の接遇向上・職員の資質向上

法人及び各施設の安定的な経営を図るため、利用者様への接遇向上及び職員の資質向上更に優秀な

人材の確保等が必要であり、これまで以上に職員研修等の機会・充実を図り、利用者本位のサービスを一層充実させることに努める。

④働きやすい職場の構築

これまでハラスメント防止やワークライフバランスをはじめ働きやすい職場作りに向けて様々な取り組みを行ってきた。昨年度は特に男性育児休業の取得推進を行い2名の取得実績があった。今後も労働基準法改正に伴う時間外労働やインターバル制度等、また高齢者雇用安定法改正に向けて70歳までの就業機会の確保等様々な労働環境の整備を行い働きやすい職場作りを継続して努めていく。

⑤障害福祉サービス費等報酬改定への対応

令和3年度障害福祉サービス費等の報酬改定率は+0.16%となっており、障害者の重度化、高齢化を踏まえた地域移行・地域生活の支援、相談支援の質の向上、効果的な就労支援、医療的ケア児への支援などの障害児支援の推進、感染症等への対応力の強化などの課題に対応した改正となっている。法人としても動ける医療的ケア児に対する評価（放課後デイ）や生活介護（障害者）での看護師3人体

制に対する新たな加算などをはじめ改正内容を十分に理解し、対応していく。

⑥地域福祉の推進

久留米市委託事業「久留米市東部障害者基幹相談支援センター」並びに障害者相談支援事業所「夢の紀」における相談支援や児童発達支援センターコアアラ園を中心に放課後等デイサービス事業、保育所等訪問支援事業の充実、更に短期入所・日中一時支援を含め、在宅障害児者のニーズを的確に把握しながら地域福祉の増進のために更に努力していくこととする。

⑦新型コロナウイルス感染症対策

厚生労働省通達及び国の基本方針に基づき令和2年2月26日、本法人の基本指針を策定し、保護者、職員他関係者等へ協力依頼及びその周知を図り感染症対策に取り組みとともに令和2年度末に職員及び委託業者のPCR検査を実施した。本年度もワクチン接種をはじめ国の対応等に鑑み継続して対応することとする。

2、定例事業

①韓国瑞林福祉院との職員交流研修事業

新型コロナウイルス予防をはじめ国内外の諸般の事情を考慮し、

本年も開催を見送ることとした。来年以降は今後の検討課題とする。

②盆踊・花火大会

昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い開催を断念したが、本年度は内容を縮小し学園関係者だけで実施する方向である。

③運動会の開催

本年は10月16日（土）に久留米市東部運動公園にて開催する予定。雨天の場合は好評を博しているレクリエーションを実施する。

3、その他の事業

①ゆかり医療療育センターへの福祉機器導入について

利用者様の高齢化等に伴い利用者様の安心安全の確保及び職員の職場環境の改善という観点から

『人材確保等支援助成金』（介護福祉機器助成コース）【厚労省】の助成金を申請し、特殊浴槽、床上走行リフトの福祉機器を導入する。

②千歳療護園の福祉機器導入について

千歳療護園通所部門での介護場面での職員の身体的負担が大きくなっているため、安心安全なサービス提供と職場環境の改善を目的とし『あすなる福祉財団』に助成金の申請を行い天井走行リフト及び床上走行リフトを導入する。

③今年度は特定技能1号（介護）の外国人を1名雇用することとなった。深刻な人手不足の状況に対応するため一定の専門性・技能を有し、即戦力となる外国人を受け入れる制度で2019年4月に創設された制度であるが、今後登録支援機関の支援を受けながら対象職員の支援計画にそって福祉現場に必要となる人材に成長していただけるように支援していく。

令和2年度事業報告

1、評議員会・理事会の開催状況

第一回理事会 令和2年6月11日（木）

第二回理事会 令和2年6月26日（金）

第三回評議員会 令和2年11月24日（火）

第二回評議員会 令和2年12月7日（月）

第三回理事会 令和3年3月15日（月）

第三回評議員会 令和3年3月29日（月）

2、助成事業関連

①新型コロナウイルス感染症緊急

包括支援事業（障がい分）

感染症対策に要する物品購入をはじめ、多機能型簡易居室の設置を行い感染防止対策に努めた。

(1) 障がい福祉慰労金事業 (2) 感染対策徹底支援事業 (多機能型簡易居室設置に要する費用を除く) (3) 感染対策徹底支援事業 (多機能型簡易居室設置に要する費用に限る) (4) 環境設備への助成事業。総事業費46,522,106円、内交付金38,316,000円であった。

② 障害福祉分野のICT導入モデル事業
 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為にタブレット等を導入、利用者様と保護者とのオンライン面会に利用すると共に、事業所の生産性向上の推進を計った。
 総事業費3,358,390円、内補助金3,355,000円であった。

③ 障害福祉分野のロボット等導入支援事業
 眠りスキャン及び付属機器を導入、利用者様の急変時(特に夜間)に早期対応が可能となり、より安心安全なサービスの提供ができるようになった。総事業費1,186,680円、内補助金1,186,000円であった。

④ 久留米市障害者支援施設等緊急短期雇用創出事業
 新型コロナウイルス感染症の影響により、学生・留學生を含め働く場を失った方に対し緊急に短期の雇用を創出した。総事業費1,114,735円、内補助金1,114,000円であった。

⑤ 丸紅基金助成金
 利用者様の高齢化による重度化が進み、介護場面での職員の身体的負担も増え、より安心安全なサービス提供の為に、天井走行リフト一式を設置した。総事業費4,055,425円、内助成金2,000,000円であった。

⑥ 国土交通省自動車事故対策補助金による事業
 昨年度に引き続き6,608,550円の補助金の交付を受けて、入所施設支援費614,228円及び人材雇用費として6,105,686円を支出した。入所施設支援費については福祉機器(昇降式テーブル・ギャッジベッド)を整備した。

3、賛助会員の状況
 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に、「典心の湯」の利用、会議室の貸出を中止し、賛助会員の新規契約・継続更新を見送った。4、利用者様のサービス向上に関する事項

苦情解決委員会をはじめとする各委員会活動を通じて、利用者様のサービスの向上、並びに職員の資質向上に努めた。

5、定例事業
 ① 盆踊り・花火大会の開催
 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に、今年度は開催を見送ることとした。

② 運動会の開催
 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に、今年度は開催を見送ることとした。各施設、寮で室内レクリエーションを企画し実施した。

③ 韓国瑞林福祉院との職員交流研修事業
 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に、中止。

④ 耳納学園展示即売会
 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に、中止。

6、職員研修事業(園内)
 ① 外部講師による人権研修(中止)
 ② 園内研修会の実施
 ③ 新任職員研修
 7、委員会活動
 各委員会活動は、感染対策を行いながら慎重に行ってきた。

資産・負債の内訳	金額
I 資産の部	
1. 流動資産合計	860,064,332
2. 固定資産合計	3,576,894,857
資産合計	4,436,959,189
II 負債の部	
1. 流動負債合計	333,577,834
2. 固定負債合計	622,131,105
負債合計	955,708,939
差引純資産	3,481,250,250

令和2年度本法人の決算状況
 (令和3年3月31現在)

施設	定員			短期入所		自費一時入所	
	定員	延人数	充足率	実数	延数	実数	延数
ゆうかり医療療育センター(医療型障害児入所)	(150)	7,945	86.6	12名	46日	4名	5回
" (療養介護)		39,465					
コアア園(児童発達支援)	(20)	2,674					
" (放課後等デイサービス)	(10)	193					
" (保育所等訪問)		6					
耳納学園(施設入所支援)	(34)	10,442	84.1				
" (就労継続支援B型)	(40)	6,854	70.5				
千歳療護園(施設入所支援)	(40)	14,315	98	3名	23日		
" (生活介護)	(50)	11,718	95.2				
第二千歳療護園(施設入所支援)	(40)	14,118	96.7	1名	295日		
" (生活介護)	(40)	10,098	96.7				

8、令和2年度心身障害児者の施設利用状況

	予算	決算
事業活動収入計(1)	2,369,667,379	2,403,383,689
事業活動支出計(2)	2,282,549,400	2,230,235,087
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	87,317,979	173,148,602
施設整備等収入計(4)	27,128,000	26,172,244
施設整備等支出計(5)	107,077,200	104,307,653
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-79,949,200	-78,135,409
その他の活動収入計(7)	26,250,000	26,278,580
その他の活動支出計(8)	20,005,000	20,004,128
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	6,245,000	6,274,452
予備費(10)	611,808,591	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	-598,194,812	101,287,645
前期末支払資金残高(12)	598,194,812	598,194,812
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	699,482,457

	当年度決算
サービス活動収益計(1)	2,395,820,698
サービス活動費用計(2)	2,311,702,563
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	84,118,135
サービス活動外収益計(4)	8,534,931
サービス活動外費用計(5)	5,748,717
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	2,786,214
経常増減差額(7)=(3)+(6)	86,904,349
特別収益計(8)	22,732,884
特別費用計(9)	18,182,775
特別増減差額(10)=(8)-(9)	4,550,109
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	91,454,458
前期繰越活動増減差額(12)	1,853,455,088
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	1,944,909,546
基本金取崩額(14)	0
その他の積立金取崩額(15)	26,128,580
その他の積立金積立額(16)	20,015,498
次期繰越活動増減差額(17)=(13)-(14)-(15)+(16)	1,951,022,628

資産の部		負債の部	
流動資産	860,064,332	流動負債	333,577,834
固定資産	3,576,894,857	固定負債	622,131,105
基本財産	2,862,568,909	負債の部合計	955,708,939
その他の固定資産	714,325,948	純資産の部	
		基本金	97,640,890
		国庫補助金等特別積立金	1,158,302,423
		その他の積立金	274,284,309
		次期繰越活動増減差額	1,951,022,628
		(うち当期末繰越増減差額)	91,454,458
		純資産の部合計	3,481,250,250
資産の部合計	4,436,959,189	負債及び純資産の部合計	4,436,959,189